報道機関各位

学校法人
追手門学院

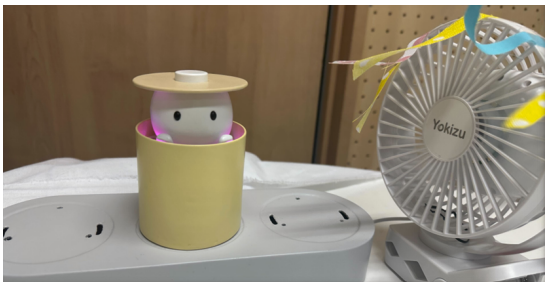
プレスリリース　No.08
2025 年 6 月 16 日配信

〒567-0013 大阪府茨木市太田東芝町 1-1　　URL: https://www.otemon.ac.jp/

理工/情報・高橋准教授が開発。人の承認欲求に働きかけるスイッチロボット
日本科学未来館 常設展示「ハロー！ ロボット」に登場

日本科学未来館（略称：未来館、東京都江東区 館長：浅川智恵子氏）常設展示「ハロー！ ロボット」の一部展示がリニューアルされ、追手門学院大学(略称：追大、大阪府茨木市、学長：真銅正宏)理工学部情報工学科の高橋英之准教授が開発したスイッチロボット「ぽっちゃん」が新たに展示されます。

一般公開は 2025 年 7 月 2 日(水)より始まり、「ぽっちゃん」は未来館 3 階の常設展示ゾーンで自由に触れて体験することができます。



奈良先端科学技術大学院大学などと一緒に高橋准教授が開発し、未来館で常設展示を行うスイッチロボット「ぽっちゃん」

理工学部情報工学科 高橋英之准教授（専門：認知科学）は人工物に対して人が抱く心的反応を、認知科学・心理学・神経科学・情報科学的アプローチを用いて研究しています。今回展示される「ぽっちゃん」は、日常の家電操作にロボットからの「感情表現」や「感謝」の要素を加えることで、人とロボットの新たな関係を模索するスイッチロボットです。「ぽっちゃん」は、ボタン付きの“何か”が筒の中で見え隠れしており、たとえば室温が高くなると「暑いなぁ」とつぶやくことで感情表現を行います。人がこの感情表現を受けて、ロボット上部のスイッチを押すと、連動している扇風機が作動しヒーターが停止。それに対して「ありがとう」などのお礼を述べる仕組みとなっています。

最大の特徴は、人が家電を一方的に操作するのではなく、ロボットを通じて人の家電操作を促し、その行動に対して感謝を返すという、人と機械の双方向的なコミュニケーションです。これにより、人が本来持つ「してあげたい」という欲求や承認欲求を刺激します。「ぽっちゃん」を通して人とロボットの感じ方の違いを知ることで、ロボットを含む他者に対する新たな視点の獲得や、よりよい他者との共存の仕方を考えるきっかけを提供することがこのロボットの狙いです。

2023 年 11 月より未来館で始まった常設展示「ハロー！ ロボット」は、ロボットたちとのふれあいや、最新ロボティクス研究の紹介を通して、未来の多様なロボットとのくらしを想像する展示です。リニューアルされた今回は「ヒューマン・ロボット・インタラクション人と通じあうためのテクノロジー」をテーマに、「ぽっちゃん」を含め 6 つのロボットなどを新たに展示し、自分とは違う価値観や判断基準をもつロボットとふれあう中で、人とロボットが、パートナーとして共生する未来を考えます。

【日本科学未来館/常設展示「ハロー！ ロボット」】
テーマ　：「ヒューマン・ロボット・インタラクション人と通じあうためのテクノロジー」
一般公開日：2025 年 7 月 2 日(水)
場所：日本科学未来館 3 階 常設展示ゾーン 「ハロー！ ロボット」(東京都江東区青海 2-3-6)
休館日：火曜日(祝日、春・夏・冬休み期間は開館の場合あり)、年末年始(12 月 28 日～1 月 1 日)
開館時間：10 時～17 時（入館券の購入および受付は 16 時 30 分まで）
入館料：大人 630 円、18 歳以下 210 円、未就学児無料
詳細はこちら→https://www.miraikan.jst.go.jp/news/press/202506124090.html

この資料の配付先：大阪科学・大学記者クラブ、北摂記者クラブ等

【発行元】　追手門学院 広報課　　TEL：072-665-9166　蛯原・織田